

# 大使館便り

第194号 令和元年5月8日  
在ポルトガル日本国大使館

## 1. 新美大使からのご挨拶

新天皇陛下が即位され、令和の時代が幕を開けました。本邦のテレビ、新聞、雑誌等メディアの扱いを眺めていて、平成の時代を回顧、総括する企画が多かったことが印象的でした。昭和生まれで、平成はいわば人生の通過点に当たる私のような者と、平成生まれの若者等では、平成の時代の意味合いが異なるのかもしれませんがね。

御代替わりは、皆さんご覧になった通り当国でも大きく報道され、私もマスコミから取材を受けました。新天皇陛下は、皇太子でいらした平成16年（2004年）5月にポルトガルに御来訪され、リスボン、コインブラ、ポルト、シントラ等を御訪問になられましたが、この御訪問は日ポルトガル友好親善に大きな役割を果たされました。平成の最後、本年2月に日EU経済連携協定が発効し、明令和2年には東京オリンピック、パラリンピック大会が開催されます。令和の御代に日ポルトガル関係が益々発展することを祈念致しております。

## 2. 大使館からのお知らせ（天皇陛下御即位を記念した祝賀記帳受付について）

当館におきまして、天皇陛下の御即位を記念した祝賀記帳を以下のとおり実施いたします。ご来館時には、身分証明書を携行頂き、建物6階のインターホンで係員に記帳のため来館した旨をお伝えください。（記帳の場合のみ、1階受付で来館票を受ける必要はございません）

- (1) 期間：2019年5月14日（火）～16日（木）
- (2) 受付時間：10:00～12:30, 14:30～17:00
- (3) 場所：当館広報文化班受付カウンター前（Avenida da Liberdade 245, 6 andar）

## 3. 政治・経済関係

### (1) ルッテ・オランダ首相のポルトガル訪問

4月3日、ルッテ・オランダ首相がポルトガルを訪問し、レベロ・デ・ソウザ大統領と会談した後、コスタ首相とアルコシェッテ市にあるスポルティングCPのサッカーアカデミー及びリスボン新大学科学技術学部を訪問した他、同首相と経済通貨同盟の強化、英国のEU離脱、EUの次期予算及びEUの戦略アジェンダ等につき会談しました。

### (2) 環境・エネルギー転換省環境担当副大臣の交替

4月4日、従兄弟を補佐官に任命していたことが報じられた環境・エネルギー転換省のカルロ

ス・マルティンス環境担当副大臣が辞任し、11日にジョアン・アタイデ新環境担当副大臣（前フィゲイラ・ダ・フォス市長）の就任式が大統領官邸で行われました。

### （3）サルキシャン・アルメニア大統領のポルトガル訪問

4月8～9日、サルキシャン・アルメニア大統領がポルトガルを訪問しました。8日、同大統領は、コスタ首相と、教育、科学技術及び宇宙分野における協力関係の促進並びに両国間の観光分野における協力の強化等につき会談しました。9日、サルキシャン大統領はレベロ・デ・ソウザ大統領と会談した他、アルメニア人の実業家カルスト・グルベンキアンの遺言により設立されたグルベンキアン財団を訪問し、グルベンキアン氏の人生を紹介する特別展を鑑賞しました。

### （4）コレイア・イ・シルヴァ・カーボベルデ首相のポルトガル訪問

4月12～13日、コレイア・イ・シルヴァ・カーボベルデ首相がポルトガルを訪問しました。12日、同首相はレベロ・デ・ソウザ大統領と会談しました（サントス・シルヴァ外相同席）。13日には、コスタ首相（サントス・シルヴァ外務大臣、カブリタ内務大臣、ヴァン・ドゥーネン法務大臣、ヴィエイラ・ダ・シルヴァ労働・連帯・社会保障大臣、ヌノ・サントス・インフラ住宅大臣他同席）との会談の後、観光、警察、司法、教育、人材育成等の分野に関する10本の合意文書の署名式が行われました。

今次訪問は、両国間で2010年に署名された友好協力協定に基づき、定期首脳会合を実施することが目的であり、今次会合は第5回目となりました。次回会合は2021年にカーボベルデで開催予定です。

### （5）安定プログラム・国別改革プログラムの発表

4月15日、ポルトガル政府は臨時閣議で決定された中期財政目標（2019－23年）をまとめた「安定プログラム」を公表しました。24日、同プログラムを対象とした共和国議会での議論が行われました。26日には、野党・社会民主党（PSD）及び民衆党（CDS）による同プログラムに対する否決動議が提出され、採決が行われましたが、与党・社会党（PS）及び左派諸政党の反対多数で否決されました。

「安定化プログラム」で示された2019年の経済成長率見通しは1.9%で、19年の政府予算で想定していた2.2%から下方修正されました。他方、▲0.2%の対GDP比財政赤字の見通しは維持されました。

同プログラムにおける主なマクロ経済指標の見通しは以下の通りです。

年	2019	2020	2021	2022	2023
GDP	1.9	1.9	2.0	2.0	2.1
財政収支	▲0.2	0.3	0.9	0.7	0.7
公的債務	118.6	115.2	109.0	103.7	99.6
失業率	6.6	6.3	5.9	5.6	5.4

※上記単位は%。財政収支、公的債務は対GDP比。

### （6）レベロ・デ・ソウザ大統領、革命記念日の式典で演説

4月25日、レベロ・デ・ソウザ大統領は共和国議会が開かれた1974年4月25日のカーネーション革命の45周年記念式典で約20分間演説しました。

レベロ・デ・ソウザ大統領は、革命当時の若者を団結した課題（民主主義、自由、発展、社会

正義、アフリカにおける和平)を振り返り、全てが解決されたとは言えないものの、達成できた一番重要なものはポルトガルが独裁国家から民主主義国家となったことであると述べました。他方、今日の若者は、地域格差、デジタル時代における働き方の見直し及び気候変動等のグローバルかつ多様な課題に対し、具体的かつ迅速な対応を求めており、これら課題を解決するためには、経済成長、公的債務の削減、社会正義を目的とした再分配に対してもっと野心的であるべきであると述べました。

フェロ・ロドリゲス国会議長は、レベロ・デ・ソウザ大統領の民主主義に対する忠誠に謝意を示した上で、大統領は「ポピュリズムの台頭を防ぐ象徴的な壁としての重要な役割を果たしてきた」と述べました。コスタ首相は式典後、一般開放した首相官邸の庭先で、記者団に対し、政府と大統領が将来の優先課題について一致していることを強調し、気候変動、格差との闘い及びデジタル社会への移行等の現代的なテーマにより多くの注意を払うべきであると述べました。

#### (7) 欧州議会選挙に関する世論調査—4月

4月26日、ジョルナル・デ・ネゴシオス紙は、アクシマージュ社が実施した2019年欧州議会選挙に関する世論調査結果を発表しました。

各党の予想得票率(議席予測)は、社会党(PS)が31.7%(8-9)、社会民主党(PSD)が29%(7-8)、統一民主連合(ポルトガル共産党・緑の党)(CDU)が8.4%(2)、左翼連合(BE)が8.3%(2)、民衆党(CDS)が7.7%(1-2)、アリアンサが1.3%(0)、人と動物と自然の党(PAN)が1.3%(0)となりました。

## 4. 広報・文化関係

(イベント)

### ●第13回国際漫画賞の作品募集開始

1. 外務省及び国際交流基金は第13回日本国際漫画賞を開催することとし、作品を募集いたします。

2. 第13回日本国際漫画賞の作品募集日程は以下の通りです。

(1) 募集期間：平成31年4月8日(月)から6月14日(金)(必着)

(2) 応募作品の提出先：各在外公館(除く政府代表部)及び第13回日本国際漫画賞専用私書箱

※[日本国際漫画賞 web サイト \(http://www.manga-award.mofa.go.jp/\)](http://www.manga-award.mofa.go.jp/)

3. 日本国際漫画賞は、麻生太郎外務大臣(当時)のイニシアチブを受け平成19年5月に創設された賞で、創設以来、海外への漫画文化の普及と漫画を通じた国際文化交流に貢献した漫画作家を顕彰することを目的として、毎年実施されています。

応募作品のうち最も優秀な作品に「日本国際漫画賞最優秀賞」、優秀な3作品に「日本国際漫画賞優秀賞」がそれぞれ授与されます。受賞者は、国際交流基金の招へいにより授賞式に合わせて訪日し、日本の漫画家との意見交換、出版社等への訪問、地方視察等を行う予

定です。

募集要項 (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000466487.pdf>)

応募票 (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000470883.pdf>)

[参考 1] 第 13 回日本国際漫画賞実行委員会の構成

実行委員長：河野太郎外務大臣

委員：白石さや東京大学名誉教授

杉山恒太郎ライトパブリシティ代表取締役社長

フレデリック・L・ショット（作家・通訳・翻訳家）

横田清小学館常務取締役

安藤裕康国際交流基金理事長

[参考 2] 今後の日程

募集期間：平成 31 年 4 月 8 日（月）から 6 月 14 日（金）

結果発表：令和元年 12 月頃

授賞式：令和 2 年 2 月頃（予定）

[参考 3] 日本国際漫画賞の web サイト (<http://www.manga-award.mofa.go.jp/>)



### ●IberAnime LX 2019 における日本文化紹介

アニメ、マンガ、コスプレ他日本のポップカルチャーをテーマとしたイベント「IberAnime LX 2019」において、日本大使館による日本の伝統文化紹介等が行われる予定です。

日時：5 月 18 日（土）、19 日（日）

会場：FIL (Feira Internacional de Lisboa)

住所：Rua do Bojador, 1998-010 Lisboa

お問い合わせ：[info@iberanime.com](mailto:info@iberanime.com)

URL：<https://www.iberanime.com/>

## ●「日本祭り」の開催

今年第9回目を迎える恒例の「日本祭り」(Festa do Japão)が、下記のとおり開催されます。今回は、昨年のオリエント地区から会場を移し、ベレン地区ヴァスコ・ダ・ガマ庭園にて開催の予定です。和太鼓・三味線コンサート、武道デモンストレーション等の他、コスプレや日本食屋台など様々なプログラムで皆様のご来場をお待ちしています。ぜひお誘いあわせの上、日本の夏祭りの雰囲気をお楽しみ下さい。

日時：6月22日(土) 14:00～22:00

会場：Jardim Vasco da Gama, R. Vieira Portuense, Lisboa

入場：無料

お問い合わせ：[cultural@lb.mofa.go.jp](mailto:cultural@lb.mofa.go.jp)、21 311 0560 (日本国大使館広報文化班)

プログラム：(詳細につきましては、確定次第、当館サイト及び大使館便りに掲載いたします)

## ●「日本語能力試験」の開催

国際交流基金と日本国際教育支援協会の主催による「日本語能力試験」(JLPT)が下記の要領で実施されます。詳細については下記のサイトをご参照いただくか、下記までお問い合わせ下さい(※願書受付はすでに終了しました)。

期日：7月7日(日)

会場：Faculdade de Letras da Universidade do Porto (ポルト大学文学部)

住所：Via Panorâmica、s/n 4150-564、Porto

お問い合わせ：[jlpt@letras.up.pt](mailto:jlpt@letras.up.pt) (ポルト大学文学部)

URL：[https://sigarra.up.pt/flup/pt/web\\_base.gera\\_pagina?p\\_pagina=1021530](https://sigarra.up.pt/flup/pt/web_base.gera_pagina?p_pagina=1021530) (ポルト大学文学部サイト)

(報告)

## ●新美大使のミーニョ大学人文学院アジア研究学科における講演

4月5日、新美大使は、ミーニョ大学で実施された「日本週間“SAKURA”」の一環として、100人以上の学生に対し、「日ポルトガル二国間関係」と題する講演を行いました。講演後は、「令和」、「ブラガ市との姉妹都市締結可能性」、「日本における経済」、「観光客数の動向」他多くの質問が寄せられました。また、本機会において国費留学生にかかる説明も行われました。



(お知らせ)

●「国際ユース作文コンテスト」作品募集

公益財団法人「五井平和財団」の主催により、「2019 度国際ユース作文コンテスト」(財団創立 20 周年特別企画)が行われます。同コンテストの今年のテーマは、「優しさがあふれる社会をつくる」となっています。詳しくは下記 URL を参照下さい。

応募締切:2019 年 6 月 15 日 (土)

お問い合わせ : [essay@goipeace.or.jp](mailto:essay@goipeace.or.jp), Tel: +81 3 3265 2071

URL : <https://www.goipeace.or.jp/work/essay-contest/>

●広報文化班からのお知らせ

今後、当館主(共)催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えて E メールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、[cultural@lb.mofa.go.jp](mailto:cultural@lb.mofa.go.jp)までご連絡下さい。

## 5. 領事関係

### (1) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、[ポルトガル国内での転居](#)、[日本への帰国](#)、[他国への転出等](#)、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてに E-mail にてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

## (2) 第三国出国の際の「たびレジ」登録のお願い

在留届を提出されている在留邦人の皆様は、普段は海外安全情報配信サービス「たびレジ」に登録する必要はございません。しかし、休暇、出張等、第三国にお出かけの際には、是非「たびレジ」の登録をお願いいたします。「たびレジ」に登録すると、渡航先の大使館・総領事館から、日本語で最新の安全情報がメールで届きます。また、大規模な事件・事故、テロ、自然災害等緊急連絡のメールが届き、安否の確認や必要な支援などを受けることができます。

登録はこちら：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

## (3) 海外に住んでいても、国政選挙への投票が可能に！

在外投票を行うには、在外選挙人名簿に登録され、あらかじめ在外選挙人証を取得しておく必要があります。在外選挙登録申請手続きについてはこちらをご参照下さい。：

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/flow.html>

## (4) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975 E-mail：[consular@lb.mofa.go.jp](mailto:consular@lb.mofa.go.jp)